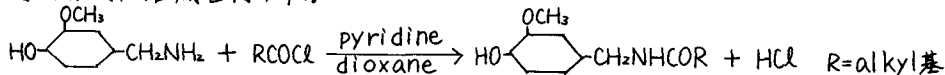


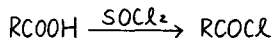
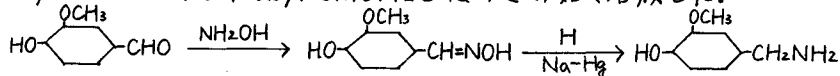
目的 従来、とうがらし辛味成分であるcapsaicin系化合物の合成は、vanillylamineとacyl chlorideのSchotten-Baumann反応により行なわれていた。しかしながら、何れも比較的収率が低く、かつ反応に長時間を要した。演者らは同反応による合成において、収率高く、かつ短時間に終了する合成条件を求め、これらにつき研究を行った。

方法 つぎの如く、合成を行った。



vanillylamineをdioxaneに加熱溶解し、それにacyl chlorideのdioxane溶液、およびpyridineを加え、2時間半加熱沸騰させ反応せしめた。

また、vanillylamineならびにacyl chlorideはつぎの如く合成した。



なお、試料の乾燥、脱水、および反応時の吸湿防止は細心に行った。

結果 上記方法により、2時間半の短時間、90%前後の高収率で、所期の化合物類を合成することができた。